

<b>31107 病理病態学</b> Clinical pathology		2 年次～ 前期 2 単位			
担当者	土井 幹雄	履修可能学科	N必		
		関連資格	看護(N)		
サブタイトル	病理病態学				
授業内容 ・ ねらい	<p>疾病構造の変化、治療技術の進歩、患者のニーズの多様化に対応するためには、医師との協働はもとより、さらなる看護の役割拡大が見込まれる。看護活動の実践にあたっては、患者の身体状況の正しい判断が不可欠であり、その根拠となる疾病の成り立ちおよび疾病による人体組織の変化について学習する。具体的には、萎縮、変性、壊死、肥大、炎症、免疫反応、代謝障害、循環障害、腫瘍などが引き起こされるメカニズムを学習する。また、代表的な疾患の原因、病変の特徴と、病因による生体内の変化を学習する。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">           1. 疾病の概念、疾病の成り立ち            2. 細胞の傷害：変性、壊死、アポトーシス            3. 細胞の適応性変化：萎縮、肥大、過形成            4. 組織の修復：細胞の再生、線維化、創傷治癒            5. 免疫系の異常：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全            6. 急性および慢性の炎症            7. 感染症：ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症            8. 腫瘍：良性腫瘍、がん         </td> <td style="vertical-align: top;">           9. 血行動態の異常①：動脈硬化、虚血、うっ血、充血、浮腫            10. 血行動態の異常②：高血圧症、ショック            11. 代謝の異常：蛋白・糖・脂質代謝異常、肥満            12. 体液調節の異常：水・電解質の異常、酸塩基平衡の異常            13. 先天性異常：染色体の異常、奇形            14. 血液・造血の異常：貧血、出血傾向、易感染性            15. 生命の危機：DIC、多臓器不全、死の徴候         </td> </tr> </table>			1. 疾病の概念、疾病の成り立ち 2. 細胞の傷害：変性、壊死、アポトーシス 3. 細胞の適応性変化：萎縮、肥大、過形成 4. 組織の修復：細胞の再生、線維化、創傷治癒 5. 免疫系の異常：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全 6. 急性および慢性の炎症 7. 感染症：ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症 8. 腫瘍：良性腫瘍、がん	9. 血行動態の異常①：動脈硬化、虚血、うっ血、充血、浮腫 10. 血行動態の異常②：高血圧症、ショック 11. 代謝の異常：蛋白・糖・脂質代謝異常、肥満 12. 体液調節の異常：水・電解質の異常、酸塩基平衡の異常 13. 先天性異常：染色体の異常、奇形 14. 血液・造血の異常：貧血、出血傾向、易感染性 15. 生命の危機：DIC、多臓器不全、死の徴候
1. 疾病の概念、疾病の成り立ち 2. 細胞の傷害：変性、壊死、アポトーシス 3. 細胞の適応性変化：萎縮、肥大、過形成 4. 組織の修復：細胞の再生、線維化、創傷治癒 5. 免疫系の異常：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全 6. 急性および慢性の炎症 7. 感染症：ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症 8. 腫瘍：良性腫瘍、がん	9. 血行動態の異常①：動脈硬化、虚血、うっ血、充血、浮腫 10. 血行動態の異常②：高血圧症、ショック 11. 代謝の異常：蛋白・糖・脂質代謝異常、肥満 12. 体液調節の異常：水・電解質の異常、酸塩基平衡の異常 13. 先天性異常：染色体の異常、奇形 14. 血液・造血の異常：貧血、出血傾向、易感染性 15. 生命の危機：DIC、多臓器不全、死の徴候				
教科書 参考書	授業時指示				
評価方法	授業時指示				
事前準備学習 履修条件等					